

令和4年度生徒指導サポート実践校「特別活動の取組事例」

学校名	庄原市立庄原中学校	校長	中重 秋登	生徒指導主事	中山 貴太
-----	-----------	----	-------	--------	-------

取組事例名 『全学年共同作成横断幕「One Piece」』

取組における育てたい資質・能力

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「協調性・柔軟性」	1	「課題発見・解決力」	3	「自己肯定感」	2

取組のねらい

- 例年行われている合唱祭が中止になり、学校の行事等を通して生徒たちが一体感や達成感を感じる機会が少ないことから全学年で横断幕を作成することで、生徒に一体感や達成感を感じさせる。
- 生徒全員で一つの横断幕を作製することで、自己存在感を与える。

取組の具体的内容	取組の創意工夫 『キーワード 協調性』
----------	------------------------

- ① 生徒会執行部会で今年度の活動を振り返り、生徒が一体感や達成感を得るためにはどのような活動ができるかを話し合い、生徒の思いを込めた横断幕を作成することを決定する。
- ② 生徒会執行部で横断幕（縦 130 cm×横 600 cm）のイメージ図や完成までのスケジュールを決定する。
- ③ 生徒朝会にて、横断幕作成の目的や日程等について全校生徒に周知し、帰りのHRで下書き用紙を配付する。
- ④ 各委員会で分担し、横断幕に使用するパズルのピース（10cm×10cm）を作成する。
- ⑤ 学級活動で、1人1枚ずつピースに清書をし、さらに自分の好きな色でピース全体を塗る。
- ⑥ 生徒会執行部でピースの向きや配色に注意しながら、レイアウトを工夫し、横断幕になるようにする。
- ⑦ 作成後は、生徒会執行部で多目的ホールに掲示する。

- 生徒全員が一体となり、一人一人の個性を尊重する機会をつくるきっかけとした。
- このプロジェクトでは、ただパズルのピースに色を塗るだけでなく、生徒一人一人の夢や目標を書き、それを繋げて本校生徒会のスローガンである「One by One」の横断幕を制作していった。
- 夢や目標を目に見える形にすることで「夢を達成するために頑張ろう」という気持ちを高めたり、夢や目標に向かって頑張ろうとしている仲間を応援したりするなど、協調性を高めていくことにつながった。



取組の成果と課題

- 一つの作品に一人一人の夢や目標を書き、それを全体で共有することにより、一体感や達成感を得ることができるだけでなく、仲間の夢や目標を知ること、それを応援しようとする姿がみられた。
- コロナ禍で様々な課題があったが、作品完成に向けて生徒会執行部や全学年の生徒が思いを込めて作成し、これからの学校生活を送る際の大きなモチベーションになったと考える。
- 多目的ホールに掲示したが、第3学年は見る機会が少なく、掲示場所を変更することになった。掲示場所をもう少し検討すべきだった。